

電気が使えなくなる日は近い!? 知られざるエネルギー危機に警鐘を鳴らす

株式会社幻冬舎のグループ会社、株式会社幻冬舎メディアコンサルティング（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：久保田貴幸）は、『東京大停電 電気が使えなくなる日』（金田武司著）を2018年8月2日に発売いたします。



日本を訪れる“未曾有のエネルギー危機”



電気が使えない——。

そんな世界を想像したことがあるでしょうか。

普段当たり前に使っているものだけに、多くの人にとって、電気が失われたらどうなるかはイメージしにくいはず。

しかし、東京が大停電に見舞われる可能性は十分にあります。

エネルギー消費大国にも関わらず、自給率はわずか8%の日本。

災害も多く、日本を取り囲むエネルギー環境は私たちの想像以上に脆弱です。

東日本大震災で、日本は大きなエネルギー危機を経験しました。

私たちは電力、エネルギーの重要性を学び、電力が「あって当たり前」

「使えて当然」のものではないことを改めて認識させられました。

次世代は世界的にエネルギー構造変革の時代となります。

本書では、長年業界の最前線で活躍する研究者が、知られざるエネルギー危機について警鐘を鳴らし、日本のエネルギーをどうしていくべきか、そのシナリオを探ります。



発売日：2018年8月2日

定 価：1,400円（税別）

体 裁：四六判・並製

著 者：金田武司

■目次

第1章 交通・食糧・水が失われる ～「東京大停電」が引き起こす最悪の結末～

第2章 資源ゼロのエネルギー消費大国

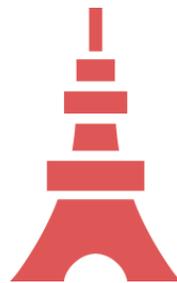
第3章 エネルギーを開発するという事 ～そして日本は何を学んだのか～

第4章 エネルギー争奪戦と日本

第5章 エネルギーを使うということ

第6章 「エネルギー戦略」への提言 ～危機回避～

第7章 “東京大停電” ～未曾有の危機～



■著者プロフィール

金田武司（カネダ タケシ）

1962年生まれ。株式会社ユニバーサルエネルギー研究所代表取締役社長。工学博士。1985年慶應義塾大学理工学部卒業。1990年、東京工業大学大学院エネルギー科学専攻博士課程修了。同年、株式会社三菱総合研究所入社。同研究所エネルギー技術研究部次世代エネルギー事業推進室長などを経て、エネルギー開発・研究活動を行う。また、東京工業大学など複数の大学にてエネルギー教育に関わる（非常勤講師等）。NEDO技術委員、世界エネルギー会議（WEC）委員などを歴任。2004年、株式会社ユニバーサルエネルギー研究所を設立。「ユニバーサル（普遍的な、すべてに共通している）な存在」を標榜する。同社は 独自性の高い事業構想に定評があり、特定の資本関係を持たない公平・中立な立場から日本のエネルギー施策に提言を行っている。

株式会社 幻冬舎メディアコンサルティング プロモーション部

津村 枝里（eri_tsumura@gentosha.co.jp）

TEL：03-5411-6440 FAX：03-5411-6441 携帯：080-1274-5571

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-9-7 URL：https://www.gentosha-mc.com/

お問い合わせ

